

あなたの経験・技術を次世代に!



参加
無料

初めて聞く農業者向け

農福連携セミナー

障害者等が活躍する新しい農業の世界



日時 **2024年
8月22日(木) 12:00~14:00**

対象 **全国の農業関係者**
(農業関係者以外の参加も歓迎です)

開催形式 **オンライン(ZOOMウェビナー)**

定員 **500名**

お申込みはこちら

応募締切 **8月9日(金)**

申込フォーム

<https://forms.gle/s4Y61VA9dLs8PUdv5>



農福連携とは

農業と福祉が手を取り合って、互いのより良い未来を築いていく取組です。多様性が尊重されるこの社会において、農福連携の取組はますます注目を集めています。担い手がいなくて不安、農家仲間が減って辛い、もっと和気あいあいと仕事がしたい、人の集まる農園にしたい…等々、さまざまな想いを抱え、今置かれた状況に新たな風を求めている農業関係者の皆さん! 農福連携で明るい未来を作りませんか?

農林水産省による詳しい解説はこちらから▶

食料・農業・
農村基本法に
条文化!



2024.8.22

農業と福祉の連携を知るセミナー

プログラム

農林水産省農福連携室より情報提供

先進事例 ①

講師 笠間 令子 氏



ノウフク・アワード
2022
優秀賞受賞

株式会社 笠間農園(石川県) 代表取締役

農福連携で担い手不足を解消!

作業療法士の経験から、病院の患者と同年代が元気に畑で働く姿に「農業のリハビリ効果」を実感し、農業者の夫の協力を得て農福連携を開始。従業員の「高齢化」の体力低下による労働力不足や「農繁期の人手不足」といった問題が解消され、障害者と関わりがなかった夫も、農福連携に取り組んでから半年で「障害者も農業で活躍できる!」と確信した。障害があっても活躍でき、達成感や生きがいを得られる共に働く場を築き上げていくことを使命として農園づくりに励んでいる。

「従業員の高齢化」
「農繁期の人手不足」を解決!

ほうれんそう・小松菜ハウス
58棟(1.7ha)、露地5ha



先進事例 ②

講師 石崎 信也 氏



ノウフク・アワード
2023
優秀賞受賞

株式会社 しんやさい(京都府) 代表取締役

新規就農後の障害者雇用で事業拡大!

新規就農後、最初の雇用が障害者だった。当時は障害者やその雇用に関する理解や知識が浅く、退職するに至ってしまった経験から、農福連携技術支援者研修に参加。現在は2名の障害者を雇用している。障害の有無にかかわらず、各人の長所を活かすユニバーサルな農園づくりに尽力。オールラウンダーではないからこそその魅力が沢山ある障害当事者が、これからの農業の一翼を担えるよう、人材育成に重きを置く。将来的には就労支援事業所を立ち上げ、様々な農業者との連携をコーディネートして、最務的には農業分野で一般就労に送り出すことができるような仕組みづくりを模索中。

新規就農
初めての雇用から
「障がい者雇用」!

露地3ha、ハウス2棟
ユニバーサル農園



先進事例 ③

講師 大森 一弘 氏



ノウフク・アワード
2023
優秀賞受賞

株式会社 おおもり農園(岡山県) 代表取締役
就労継続支援A型事業所職業指導員

農家が福祉事業所を立ち上げ!

最初は半信半疑で障害者の受け入れを始めたが、仕事ぶりが驚くほどしっかりとしていたことから「これは農業の担い手になりうるのではないかと」感じ、農福連携に組み始めた。自ら立ち上げた就労継続支援A型事業所「杜の家ファーム」との連携によって、いちごの生産を障害者と一緒に行なっている。ただ作業をしてもらうだけでなく、障害者が「将来の地域農業の後継者」となることを目指している。

農福連携で
事業規模4倍! 障害者は
「将来の地域農業の後継者」

いちごを中心に42a、
福祉事業所も創設



皆様、お気軽にご参加ください!

今後の
開催予定

【福祉事業者向け】

9月26日(木) 13:00~15:00

【企業向け】

10月16日(水) 14:00~16:00

【交付金セミナー】

2月上旬開催予定

